

## 平成20年度第2回岡山市総合政策審議会総務・社会部会会議要録

- 1 日 時 平成20年7月23日(水) 午前10時～12時
- 2 場 所 保健福祉会館 9階 大会議室
- 3 出席委員 井上部会長、片山副部会長、古南委員、高津委員、戸部委員、藤井委員、妻鹿委員
- 4 出席職員 総務局長、総務局審議監、人事課長、職員課長他
- 5 議 題 (1) 議員の報酬、期末手当について  
(2) 市長、副市長、代表監査委員の給料、期末手当、勤勉手当について  
(3) 市長、副市長の退職手当について
- 6 配布資料 [略]
- 7 会議要録  
(主な意見)
  - ・ 上水道下水道の料金を上げておいて、市長の給料を上げるのは納得がいかない。
  - ・ 今後5年間の210億円の収支不足を念頭におくならば、市長の給料は下げる方向で考えるべき。
  - ・ 政令指定都市にふさわしい給与かどうか常にチェックする必要がある。いったんここで下げて、その上で政令指定都市になって1、2年後に再度検討するべき。
  - ・ 4年に一度、選挙の任期ぐらいでは、最低でも審議するべき。
  - ・ 市長、副市長、代表監査委員の勤勉手当には評価・成績率がついてまわる。特別職職員に勤勉手当はなじまない。
  - ・ 議員の報酬は、日本全体の財政の厳しさ、高齢者の状況等をみると今の時点で引き上げるべきでない。